

第2学年 社会科 学習指導案

(第2回 土佐市情報教育プロジェクト推進委員会における
情報教育に関する提案授業 / 土佐南中学校自主公開授業)

平成27年6月23日(火) 第6校時

土佐市立土佐南中学校

2年生27名(男子10名、女子17名)

場 所: 2年生教室

指導者: 山脇 博也

※ ただし、生徒支援として教員1名が
ついています。

学習指導要領 歴史的分野 (4) 近世の日本 エ

[目標] 社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを通して、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解する。

1. 授業テーマ: 情報通信機器を活用した視聴覚教材の効果的な活用の工夫と、生徒同士がつながり合って学び合う授業づくりの研究

2. 単元名

「経済の成長と幕政改革」

(教育出版社 刊「中学社会 歴史 未来をひらく」第4章 第4節)

3. 単元について

(1) 単元観

本単元では、江戸幕府における幕藩体制の確立後、多数をしめる農民や町人の生活の変化を理解させ、幕府政治が次第に行き詰まりをみせたことを学ぶものである。新田開発や農具の進化、新しい肥料の使用などによる商品作物の栽培によって農民の生活だけでなく、町人、特に商業や輸送に大きく影響を与え、社会全体が大きく変化したことをまずは理解させたい。社会の変化の中で人々の生活も変化し、それが町人文化の発展という一種の豊かさをもたらすとともに、社会のしくみ自体への不満の高まりにつながったこと、そういった民衆への不満に対して幕府が行った改革の内容を、教科書に掲載されている資料を活用し、具体的な事例をもとにして理解させたい。

(2) 生徒観

本学級の生徒たちは、社会事象に対して興味をもって考えようとし、学習内容を熱心にワークシートへ記入するなど学ぶ意欲が高い生徒が多い。一方で、特に男子生徒の中に、自己の考えをうまく表現できない、表現しようとしめない生徒が複数存在している。女子生徒の人数が多いこと、その中に意欲的に取り組んでいる生徒が多いという学級の状況から、社会科では独自の座席配置を行い、男女が学び合い、特に女子が男子を支援できるように工夫をしている。日々の授業では、本文や資料を読み取らせ、そこから小グループ(3~4名)で考えさせ、それを全体で共有させることを授業の基本的な流れとして行ってきた。十分定着していないところはあるが、この基本的な流れにそって、基本事項の定着を図りつつ、思考を深めることができる課題の提示によって思考力を高めるとともに、歴史の学習が現代社会につながっていることを認識させたい。

(3) 指導観

本単元における、各小單元ごとの学習内容は、江戸時代の経済発展とそれにもなう農民や町人を中心とした社会の変化、そしてその中から百姓一揆や打ちこわしなどの社会に対する反動、さらにはそういった反動の中での幕政改革の前半部分を学ばせるものである。農業における生産性の向上が、農民生活だけでなく商業や輸送など社会の変化へつながったという多面的な側面をまずは理解させる必要がある。幕政改革については、改革が必要となった背景に財政難があったことを理解させながら、改革の内容や結果を明確にする必要がある。そのために、本文や資料から読み取った内容をワークシートに記入させ、生徒の記入した内容をもとにして全体で共有・確認するという授業展開を行う。

なお、授業を行うにあたっては、本校の「授業の基本スタイル」に則り、特にできていない生徒に発言させることで、全生徒の内容理解を図るとともに、授業の進行にあたっては“２段階”の授業構成とし、１段階目で基礎的な事項の習得、２段階目で思考を深める課題解決学習というスタイルを基本として授業を行う。

4. 単元目標

- 江戸時代における農業の発達とそれに伴う産業や交通の発達、文化の広がり、幕政改革の内容など江戸時代の社会の変化に対して関心を深める。
- 農業の発達とそれに伴った産業の発達が都市の繁栄へとつながり、新たな町人文化が生まれたこと、その中で幕政改革が行われたことを、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。
- 経済の発展や町人文化、江戸幕府が財政難となり幕政改革が行われたことに関する資料を読み取り、図表や文などにまとめることができる。
- 経済の発展や町人文化の内容、繰り返し行われた幕政改革の内容とその結果を理解する。

5. 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度 ①	社会的な 思考・判断・表現 ②	資料活用技能 ③	社会的事象についての 知識・理解 ④
経済の発展と都市の発達、町人文化の形成、幕政改革などの内容を意欲的にワークシートへ記入したり、グループ内で発言したりしている。	経済の発展が、都市の繁栄や町人文化の発達につながっていること、幕政改革が繰り返し行われた理由などをワークシートへ適切に記入している。	経済の発展や都市の繁栄、町人文化、幕政改革に関する資料を読み取り適切にまとめることができる。	繰り返し行われた幕政改革や町人文化の内容を理解し、ワークシートへ適切に記入している。

6. 単元の指導内容および評価の計画（全６時間）

次	学 習 内 容 []は学習指導要領との関連	時数	評 価			
			①	②	③	④
1	将軍のおひざもと、天下の台所 〔４）ウ〕	1	農業の発達に関心を高め、商品作物の登場による社会の変化を意欲的に読みとろうとしている。〔観察〕	都市が発達した理由を、農業の発達とそれに伴う経済発展と関連させて考察している。〔ワークシート〕		

次	学 習 内 容 []は学習指導要領との関連	時数	評 価			
			①	②	③	④
2	花開く町人文化 [(4) ウ]	1	浮世絵や装飾が、庶民の芸能などの絵を観察し、元禄文化への関心を高め、特色を意欲的に調べようとしている。[観察]		文学作品や美術品を見て、元禄文化の特色を読み取っている。[観察]	
3 (本時)	連判状にまとまる人々 [(4) エ]	1		経済の発展が貨幣経済をもたらし、その中で社会に混乱が起こったことを整理して考察している。[観察]		農民たちが起こした百姓一揆の原因について理解している。[ワークシート]
4	繰り返される政治改革 [(4) エ]	2		幕政改革を実施した人物や制作のねらい、改革の結果などを整理して考察し、まとめている。[ワークシート]		綱吉の政治、享保の改革、田沼の政治改革、寛政の改革について、それぞれの改革の内容や結果を理解している。[ワークシート]
5	「読み・書き・そろばん」の習い [(4) エ]	1	この時期の学問、文学、美術などの作品に関心を高め、化政文化の特色について意欲的に調べようとしている。[観察]		文学作品の特徴や風景画を読み取り、元禄文化と比較して文化の特色を読み取っている。[ワークシート]	

7. 本時の展開

(1) 本時の目標

- 貨幣経済が広まったことによる社会の変化について、その背景を含めて理解し、説明できる。
- 貨幣経済の広がりにより引き起こされた百姓一揆の理由を図表などから読み取り、その理由を理解する。

(2) 本時の評価規準

- 経済の発展が貨幣経済をもたらし、その中で社会に混乱が起こったことを整理して考察している。 [② 観察]
- 農民たちが起こした百姓一揆の原因について理解している。

[④ ワークシート]

(3) 準備物

ワークシート (1 枚)、教科書、情報提示装置一式

(4) 学習の展開

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評価規準・ 評価方法
導 入	・ 前時までの経済の発展について確認する。	・ NHK for School より「10min.ボックス日本史」より「江戸時代の産業と交通」の scene4(2'29") から scene8(7'29")を視聴し、商品作物の出現と経済の発展を確認する。	
展 開	・ 貨幣経済が広がることで、農村でどのような変化が起こったのか、特にその課題について整理して理解する。 ・ 百姓一揆がなぜ起こされたのかをグラフや本文をもとにして理解する。 ・ 傘連判状で名前を円形に記入した理由を理解する。	・ 教科書 P 1 1 6 の 2 の資料を拡大提示し、家計の状況を読み取らせる。なぜ支出超過となったのかをあわせて説明させる[小グループ]。 ※ 課題を明確にさせ、なぜそのような課題が生じたのか、その理由を含めて説明できるよう小グループ内や全体で考えさせる。 ・ 教科書 P 1 1 7 の 3 の資料を拡大提示し、百姓一揆や打ちこわしが多い時期の前後の状況を読み取らせる。 ・ 教科書 P 1 1 7 の 4 の資料を拡大提示し、なぜ円形に名前が書かれているのか考えさせる。 ※ 幕政改革がその都度行われていることについては、次時で学習することを伝え、ここではその内容にはふれない。	② ・ 経済の発展が貨幣経済をもたらし、その中で社会に混乱が起こったことを整理して考察している。 [観察] ④ ・ 農民たちが起こした百姓一揆の原因について理解している。 [ワークシート]
ま と め	・ 貨幣経済の広がりによってもたらされた課題、その課題に対して民衆がどのような行動をとったかを確認する。	・ 特に学習への意欲が低いと思われる生徒を指名して説明させる。 ※ 指名時前に、まとめる時間を設ける。	